



報道関係各位

GE ヘルスケア・ジャパン

“ビッグデータイメージングシリーズ”に循環器向け超音波診断装置「Vivid S60」を投入、 先進の画像クオリティで日常診療のエコー診断を実現

～ハイエンド機能をそのままに小型軽量化に成功、院内のあらゆるシーンでビッグデータの共有を可能に～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は、院内のあらゆるシーンでビッグデータの共有を可能にする画期的なテクノロジーを搭載した循環器向け超音波診断装置「Vivid S60(ヴィヴィッド・エス 60)」の販売を、4月4日(月)より開始します。

5人に1人が75歳以上となる*1、いわゆる「2025年問題」に備え、医療サービス提供のあり方に変革が求められています。また、高齢化に伴い国内の心疾患は悪性新生物について国内死因の2位に位置し、さらに増加を続けています*2。このような中、検査精度の向上と診断の効率化に貢献する超音波診断機器への注目が高まっています。技術革新による画質の向上は、エコーの診断能をあげ、日常診療における画像診断を可能とします。さらに、限られた設置スペースである院内の検査室や病棟のほか、循環器クリニックなどでは、高いレベルのエコー診断を可能にするコンパクトかつ軽量の超音波診断装置のニーズも高まっています。

このたび発売する「Vivid S60」は、当社のVividシリーズ最上位機種「Vivid E95」の持つ高性能をそのままに小型軽量化することに成功した新製品です。「Vivid E95」に搭載されているビッグデータ情報処理ソフトウェア「cSound(シーサウンド)」の搭載により、最上位機種と同レベルの高画質かつ情報量の多い検査画像の提供を実現し、また小型軽量化により検査室のみならずICU、CCU、NICUや病棟でも高度な超音波検査を行うことを可能にしました。さらにVividシリーズであればどの装置間でもデータ共有ができるため、「Vivid cSound Family」(「cSound」を搭載した当社のVividのビッグデータイメージングシリーズ)を活用することで、院内の情報共有を容易にし、超音波診断に関わる医師・技師および患者の負担軽減が期待できます。

GE ヘルスケア・ジャパンは、「Vivid S60」の投入により、今後も「患者にも検者にもやさしい」医療の実現に貢献することを目指していきます。

*1: 厚生労働省 老健局資料より、http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/pamphlet/dl/2014-jimu_10.pdf

*2: 厚生労働省 平成26年人口動態統計より(図6) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai14/dl/kekka.pdf>



Vivid S60 による診断画像

■「Vivid S60」製品特長

・ビッグデータプラットフォーム「cSound」搭載

従来のハードウェアによる超音波送受信を全てソフトウェアで行うことによって、より多くの送受信情報(ビッグデータ)*3を高速演算処理ユニットで同時並列多重プロセスから画像化することに成功。心臓領域から腹部・血管まで幅広い領域において、高画質と高フレームレート(リアルタイム性)の両立を実現しました。

*3: 毎秒約 5GB のデータをリアルタイム演算

・すぐに使いこなせる高い操作性

タブレット型タッチパネルと最適に設計されたキー配列により、スムーズな操作性を実現。従来の Vivid シリーズと変わらない操作性を継承しているため、導入後すぐにスムーズな操作が可能です。

・モビリティの高い、小型軽量ボディ

狭小な日本の医療施設でも導入しやすいコンパクトな設置面積。バッテリー内蔵によりシャットダウンや再起動の時間を待つことなく院内どこでも持ち運び、検査が可能に。

・サイズ及び重量

幅: 535mm x 奥行: 755mm x 高さ: 1355 mm

重量: 73kg

■製品概要

製品名: 汎用超音波画像診断装置 Vivid S60

発売日: 2016年4月4日

医療機器認証番号: 226ABBZX00155000号

※Vivid S60は汎用超音波診断装置 Vivid S70の類型です

その他、本資料に記載された装置の製品名/薬事販売名/医療機器認証番号は以下の通り

製品名	薬事販売名	医療機器認証番号
Vivid E95	汎用超音波画像診断装置 Vivid E95	227ABBZX00350000
Vivid S70	汎用超音波画像診断装置 Vivid S70	226ABBZX00155000

GE ヘルスケア・ジャパンの超音波診断装置

当社の超音波診断装置は、現在、汎用の「LOGIQ(ロジック)」、循環器向けの「Vivid(ヴィヴィッド)」、産婦人科用の「Voluson(ボルソン)」、各診療科の特定ニーズに対応する「Venue(ヴェニュー)」、ならびに2010年10月に発売したポケットサイズの「Vscan(ヴィースキャン)」の5ブランド体制で、エントリーモデルからプレミアムハイエンド機まで、医療機器のニーズにきめ細やかに応える製品を世に送り出しています。また、VenueシリーズやVscanなどバッテリー駆動の可能性と簡便性、高い機能性を誇る装置を通じて、在宅・災害医療時や、麻酔科や整形外科、リウマチ科などこれまで超音波診断装置の使用頻度が低かった分野における新たな利用機会の創出を積極的に進めています。

これらの取り組みを通じて、全てのブランドにおいて幅広い製品の投与ならびにサービスの充実を進めることで、優れた医療ソリューションの提供を図り、「人にやさしい、社会にやさしい」医療の実現に貢献することを目指します。



Vivid S60

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GEヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組むGEヘルスケアの中核拠点の1つとして、1982年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CTやMRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GEの世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2016年1月1日現在の社員数は約2,000名、国内に本社および54カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GEヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 ブランチャード/松井
Tel: 0120-202-021